

平成 29 年度の外来種対策事業について

環境部自然環境課

環境部自然環境課では、今年度の外来種対策事業として、以下の項目を実施した。

1 外来種対策研修会

地域で特に問題となっている侵略的外来種対策について、市町村やNPO等を対象とした研修会を開催した。

	第 1 回研修会（三河地区）	第 2 回研修会（尾張地区）
開催日	平成 29 年 10 月 4 日（水）	平成 29 年 10 月 12 日（木）
場 所	西三河総合庁舎	自治センター

内 容：・日本における外来種対策 ・外来種問題とその対策
 ・ヒアリ防除対策の紹介 ・アカミミガメ等防除の取組

出席者：市町村職員 60 名、NPO 職員等 28 名、県職員他 29 名 合計 117 名

2 専門家の派遣

外来種対策について、知識・経験が不十分な市町村に対して専門家を派遣し、指導・助言を行った。

実績： アルゼンチンアリ（2 件）、ブラウジングアント※（1 件）、
 アライグマ（1 件）

※ ブラウジングアント： 平成 29 年 7 月に名古屋港（飛島ふ頭）において、国内で初めて生息が確認された外来アリ

3 ヒガタアシの対策

生態系に著しく悪影響を及ぼすおそれのある侵略的外来植物ヒガタアシについて、根絶に向けた効果的な駆除方法の検討をしていき、今年度根絶を宣言した。

（平成 29 年 10 月に日本スパルティナ防除ネットワークが主催するヒガタアシ最終防除イベントを後援）

4 侵略的外来種の現状把握（本検討会：環境調査センターが実施）

条例公表種、特定外来生物、そのほか悪影響が懸念される外来種の生息生育情報を把握し、今後の対策の基礎資料を集積していく。

スケジュール H28 年度：淡水域、H29 年度：陸域、H30 年度：沿岸域

5 ヒアリに係る対応

○愛知県内では、平成29年6月30日に名古屋港（鍋田ふ頭（弥富市））でヒアリが確認されて以降、現在までに以下のとおり、6事例確認されている。

番号	確認地点	確認日	確認状況	備考	積出港
1	愛知県弥富市 （名古屋港）	6月30日	コンテナヤード：コンテナ外部	7 個体	南沙港 （中国）
2	愛知県春日井市	7月10日	事業者敷地内：倉庫	1 個体（内陸部初）	南沙港
	愛知県飛島村 （名古屋港）	7月12日		コンテナヤード：コンテナ内	
3			愛知県弥富市 （名古屋港）	8月4日	空コンテナヤード：コンテナ内
4	名古屋市港区 （名古屋港）	9月1日	事業者敷地内：コンテナ内	約1,000 個体（女王1 個体）	天津港 （中国）
5	愛知県弥富市 （名古屋港）	10月3日	コンテナヤード：全国68 港湾調査（踏査）	2 個体	不明
6	愛知県弥富市 （名古屋港）	11月7日	空コンテナヤード：コンテナ内	7 個体	中山港 （中国）

○県として、以下のとおり対応を行った。

・国への要請

要請日	要請先	主な要請内容
7月11日、12日	環境省 国土交通省	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリの水際対策の徹底 ・自治体への迅速な情報提供 ・国民への周知 ・対策費用の財政的支援
11月8日、9日	環境省 国土交通省 財務省	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリの水際対策を徹底 ・貨物積込時における予防的防除働きかけ ・自治体関係者、国民への周知 ・ヒアリ以外の特定外来生物侵入防止、防除対策 ・新たな特定外来生物への迅速な指定検討

・ホームページによる県民の方々への注意喚起

・ヒアリ相談窓口の設置

相談件数：343 件（2月20日現在）

・以下関係団体等への注意喚起・協力要請

庁内各部局、市町村、荷主・運送事業者の関係団体、県医師会等

・名古屋港（鍋田ふ頭及び飛島ふ頭）事業所の一斉調査・啓発